

# 「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」

## 対応状況公開資料(概要版)

公開日：平成 24 年 6 月 4 日  
最終更新日：平成 26 年 5 月 15 日

株式会社かなめ技術開発  
予報業務許可第 190 号（地震動）

本資料は、平成 23 年 4 月 22 日に気象庁から公開された「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」への当社地震動予報業務許可（許可第 190 号）を使用している製品の対応状況を公開するものです。「予報業務の許可等に関する審査基準、標準処理期間及び処分基準（通達）」（平成 24 年 2 月 23 日制定、平成 24 年 3 月 1 日適用）では、許可事業者は利用者にガイドラインの「端末利用者が施す措置の一覧表」掲載の各項目に対する対応状況について利用者に十分な説明を行うことが義務づけられました。本資料は、それらに対する適合状況を公開するものです。

製品名	地震情報受信機能内蔵ルータ PCD-SSWU01
製造年月日	平成 22 年 3 月～平成 23 年末
提供形態	プラネックスコミュニケーションズ株式会社製造の端末（緊急地震速報受信機能付きルーター）にソフトウェア提供。端末は、株式会社ピーシーデポコーポレーションから利用者へ貸与。
動作環境	緊急地震速報受信機能付きルータ。 サービスは株式会社ピーシーデポコーポレーションが実施。
使用目的	C. 端末の報知による人の危険回避

	項目	適合状況説明	備考
1	気象庁が緊急地震速報(予報)を発表してから端末が報知または制御を開始するまでに要する時間	気象業務支援センターが緊急地震速報(予報)を配信してから端末に緊急地震速報(予報)が届き、画面表示を開始するまでに要する時間はベストエフォートでは1秒以下です。インターネット回線を利用するため、伝達時間の保証はできません。	詳細版の(1)-2, (4)-1を参照。
2	気象庁から端末まで、配信をときれさせないような対策	気象庁から配信サーバーまでの通信回線は冗長化されています。配信サーバー及びIPアドレスは複数用意されていて冗長化されています。配信サーバーから端末までの回線については、インターネット回線であるので、網の部分のみ冗長構成としています。 また、端末は自己診断機能により画面で異常を通知します。	配信サーバーの具体的な対策については、詳細版の(4)-2, 8を参照。 端末の自己診断機能については、詳細版の(1)-1, 7を参照。
3	時刻合わせ	配信サーバー、端末ともにNTPサーバーによる時刻校正を行っています。	端末の時刻校正機能については、詳細版の(2)-2を参照。 配信サーバーの時刻校正機能については、詳細版の(4)-6を参照。
4	配信・許可事業者によるサポート	端末・配信に関する問い合わせはピーシーデポコーポレーションのコールセンターで受け付けています。	サポート内容の詳細については、詳細版の(5)-1から8を参照。
5	耐震固定等地震の揺れへの対策	耐震ゲル等の市販の耐震固定具等を利用して固定してください。	詳細版(1)-6に記載。
6	無停電化	無停電電源装置等に接続してください。	
7	端末の冗長化	故障時は代替機との交換が可能です。	
8	回線 常時接続できる回線 専用線などの信頼性の高い回線	常時インターネット接続できる回線につないでご利用ください。	
9	サーバー端末間の物理回線の冗長化	ありません。	
10	予想した猶予時間	猶予時間の設定機能はありません。主要動到達から10秒以上経過したものについては使用しません。画面に猶予時間をカウントダウン表示します。また、5秒ごとの猶予時間を報知します。	詳細版(3)-1, (3)-4に記載。
11	予想した震度	端末を動作させる震度の設定機能はあります。予想震度は画面表示と音声で報知します。	詳細版(3)-1, 4を参照。

地震情報受信機能内蔵ルータ PCD-SSWU01

1 2	精度情報	設定機能はありません。100ガルを超え1点処理は使用しません。2点以上の緊急地震速報のみ使用します。	詳細版(1)-12, (3)-5, 6を参照。
1 3	深発地震についての緊急地震速報(業)	設定機能はありません。震源の深さが200kmより深いものについては使用しません。	詳細版(3)-9に記載。
1 4	放送・報知内容	報知音にはNHKチャイム音を用います。画面に予想震度・猶予時間・震央地名を表示します。音声で予想震度と5秒ごとの猶予時間を報知します。 アナウンス内容の詳細については、製品の「必ずお読みください」に記載しています。	詳細版(1)-8, (3)-3, 4を参照。
1 5	緊急地震速報(業)で制御、放送、報知を行った後に同一地震または別の地震について提供される緊急地震速報(業)	設定機能はありません。一度起動条件を満たした地震に関する緊急地震速報(予報)の続報については、キャンセル報以外は使用しません。最初に起動条件を満たしたもので動作し続けます。 音声出力中に別の緊急地震速報の出力は行いません。	詳細版(3)-7, 8に記載。
1 6	キャンセル報	設定機能はありません。既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作します。	詳細版(3)-10に記載。
1 7	試験	端末内の「テスト出力」ボタンからのみ行えます。配信サーバーからのテスト報配信はありません。	端末機能については、詳細版(1)-9,(3)-12に記載。
1 8	訓練	端末に訓練報を使用するかの設定機能はあり、画面・報知ともに本物とは異なる訓練用の動作が可能です。ただし、現時点で配信サーバーから訓練報は配信していません。	詳細版(1)-10,(3)-11に記載。
1 9	配信・許可事業者への連絡	端末・配信に関する問い合わせはピーシーデポコーポレーションのコールセンターで受け付けています。	サポート内容の詳細については、詳細版の(5)-1から8を参照。

以上

更新履歴

平成24年6月4日	Version 1	初版
平成26年5月15日	Version 2	製造年月日追記、許可番号変更。